



- 凡例
- 柱
 - 拘束壁(当該階)
 - 拘束壁(当該階部分スリット)
 - 荷重壁(当該階完全スリット)
 - 荷重壁(上階)
 - 荷重飾柱(上階)
 - 梁
 - スラブ
 - 手摺・立上り
 - 開口
- 青印のサポートは一般サポート
(当該階コン強度15Nで解体可能)
- 2 パイプサポート
 - 赤数字はサポート本数
 - 2 LGS+ジャッキ
 - 赤数字は支柱本数
 - サポートつなぎ
- 赤印のサポートはピンポイントサポート
(上々階コン打設後解体)
- 2 パイプサポート
 - 赤数字はサポート本数
 - 2 LGS+ジャッキ
 - 赤数字は支柱本数
 - サポートつなぎ
 - 根太
 - ⊠ 枠組支保工(建地2連)

ピンポイント工法の急所

一般サポート解体強度 15N
上階打設コンクリート強度 24N

一般サポート解体の前に
15Nのコンクリート強度を確認
サポートの配置確認(全数)1本抜けてもダメ!
サポートの巻き確認! 手巻き+パイプ締め
サポートの巻き全数を完了!(1本残らず)
サポートの明示!(1本でも解体したらダメ)
サポートの養生

上階コンクリート打設前に
24Nのコンクリート強度を確認
サポートの配置再確認(全数)1本抜けてもダメ!
サポートの巻き再確認!

ピンポイントサポート解体前に
設計基準強度のコンクリート強度を確認
上々階のコンクリート打設確認!
(施工荷重が設計荷重より大きい時)

施工については計画図と現物を良く確認して実施してください。
確認して違いがある場合は計算者に連絡ください。
複数階を統合している場合は壁が表記されていない場合があります。
壁中にサポートがある場合はサポートを不要としてください。

型枠支保工早期解体計画図(ピンポイント工法:FEM解析による)
PC梁・PC床版支保工計算書(1)&(2)による

***** 上本町分譲住宅	株式会社フォービル	森本隆之
**** 4軸5床~41軸42床	作成:2006年11月7日	